

ダイキン工業：知財AI活用で実現する「防衛型」から「戦略型」への変革

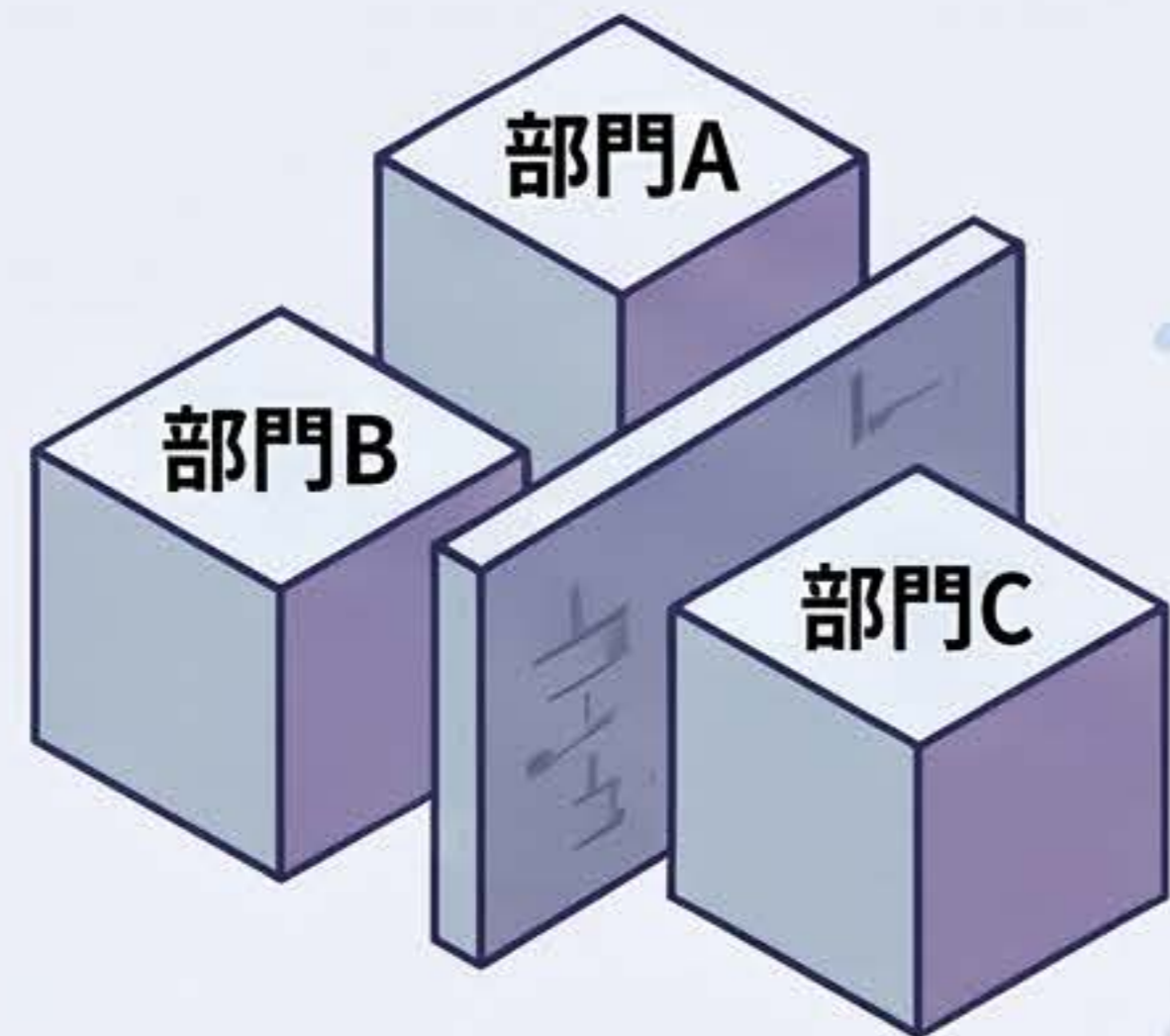
従来の「防衛型」知財 (BEFORE)



主な目的：
権利取得による事業保護



分析手法：
手作業・キーワード検索
(膨大な分類作業)



組織体制：
部門ごとに独立 (サイロ型)

活動の中心：権利保護



AIによる類似特許
検索の高度化
(共同開発で自動化を実現)



外部指標と社内評価の
強い相関を実証
(AIスコアの戦略的
信憑性を確立)

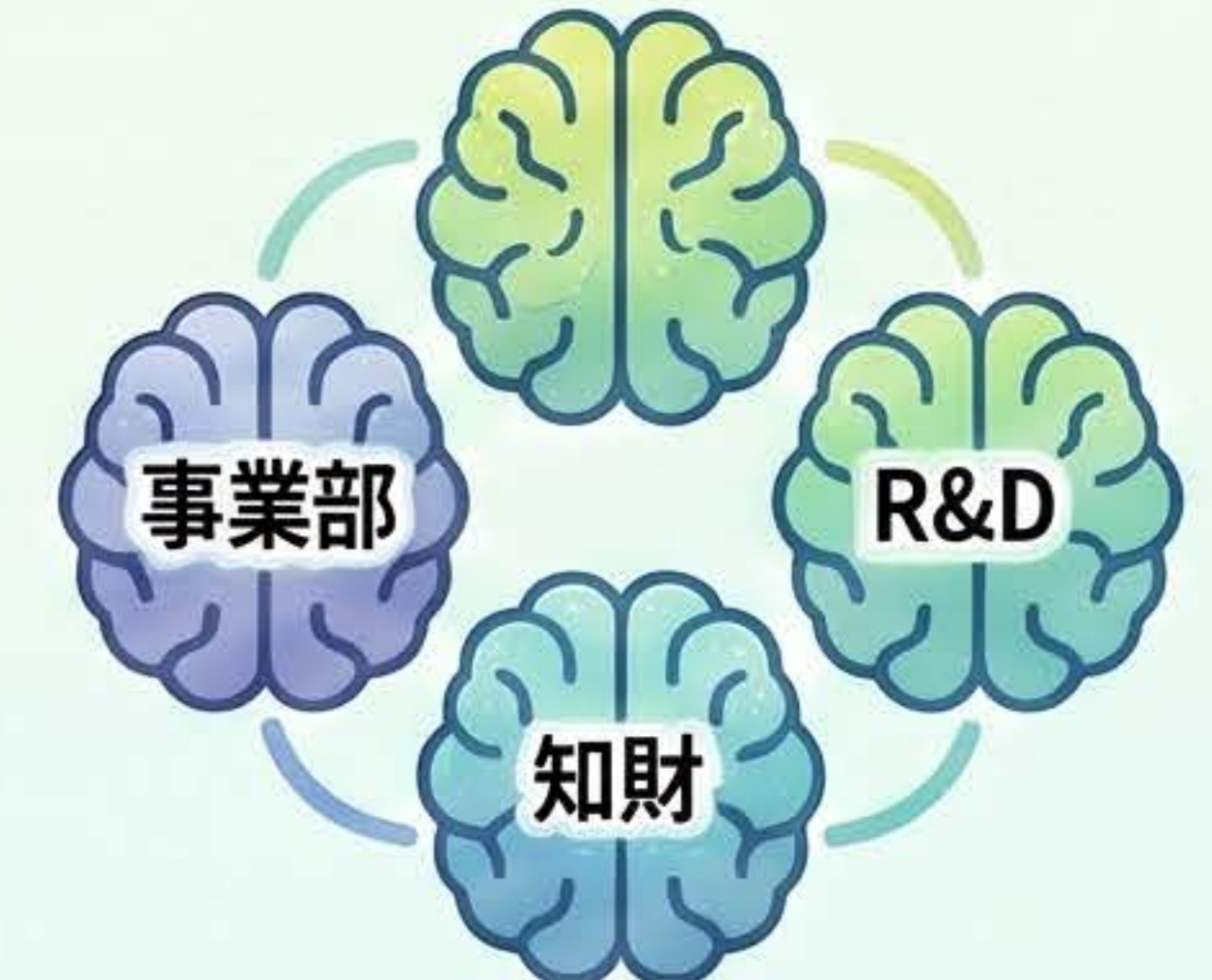
変革後の「戦略型」知財 (AFTER)



主な目的：
知財インテリジェンスによる事業牽引



分析手法：
AIを活用した高度なデータ分析
(知財インテリジェンスの民主化、
高度業務ヘシフト)



組織体制：
事業に寄り添うクロスアサイン体制
(サイロ型から伴走型組織へ)

活動の中心：事業成長を牽引